

ふれあい 38

平成30年7月20日発行 第38号 発行 総合青山病院 (0533) 73-3777 印刷 株式会社印刷所

<http://www.aoyama-hp.or.jp>

第37回

医師
からの
メッセージ

歯科口腔外科について

歯科口腔外科 医員 小田 紗矢香



皆さまこんにちは。昨年4月より
歯科口腔外科に医員として赴任した、
小田紗矢香と申します。



私たち「歯科口腔外科」では虫歯・
歯周病・入れ歯などの治療は基本的
に行わず、地域の先生方をお願いして
います。これは診療内容を分担し、よ
り効率的に皆さまへ歯科治療を提供
する狙いがあります。では当科には
どんな時に受診していただければいい
のか、ご紹介します。

当科は主に、口に関する手術や、

様々な検査の必要な方が対象です。
最も多いのが親知らず(智歯)を抜く
方です。近年食生活の変化等から日
本人の顎は小さくなり、スペースが足
りず智歯がまっすぐ萌え(は)ない・埋まっ
ていることがあります。そこから感
染して痛みや腫れが出るなどの有害
な症状が出ると、手術(抜歯)で取り
除きます。手術内容や時間、体調な
どを総合的に判断し患者さまに応じ
た治療方針を立てます。加えて治療
の影響で血が止まりにくい方、骨粗
鬆症の薬を飲む方、治療に注意が必
要な持病をお持ちの方の抜歯も担当
します。

抜歯以外では、唇・歯肉・舌・頬・顎
骨など口の中にできもの(腫瘍・嚢胞
等)がある場合、悪いものでないか検
査し、定期的に様子を見る・手術で取
り除くなどの治療を行います。

また当院で全身麻酔の手術を受け
る方に対し、肺炎や傷口の感染を防
ぐための診察(術後期口腔機能管理)
を行うこともあります。

そのほか事故や転倒(外傷)後の検

査や治療、顎が痛い・口を開けにくい
とき(顎関節症)などの治療も受けつ
けています。

さらに、食事の流れとなる「食べ物
を認識、口に運び、噛んで飲み込む」
過程に問題のある方(摂食嚥下障
害)に対して治療を行う歯科医師も
います。

当科では歯科医師・歯科衛生士・歯
科助手に加え、必要に応じ幅広い職
種(医師、看護師、看護補助者、管理栄
養士、薬剤師、言語聴覚士、医療ソ
シアルワーカーなど)と連携し、総合
病院の強みを活かして治療を行いま
す。皆さまどうぞお気軽にご相談く
ださい。



第34回

看護の現場から。

療養生活を支える訪問看護

訪問看護ステーションさつき 主任 田中 篤子



はじめまして、訪問看護ステーションさつきです(総合青山病院 西館の一階に事業所があります)。

今回は、訪問看護の活動についてお話しします。皆さんは「2025年問題」をご存知でしょうか？

2025年は、団塊の世代が75才以上の後期高齢者となり、国民は3人に1人が65才以上、5人に1人が75才以上という、人類が経験したことのない「超高齢社会」を迎えます。これが「2025年問題」です。その中で医療費の財源不足が大きな問題となり、「病院から在宅での療養へ」と国の方針が打ち出されています。また在院日数の短縮もあり、在宅医療への転換を余儀なくされています。

在宅で療養となると在宅医

療と介護の密接な連携が必要となってきますが、大きな力ギとして双方の架け橋となるのが訪問看護なのです。

訪問看護では、住み慣れた環境で安心、安全にその人らしく生活が出来るよう支援し(小児から人生最期の看取りまで)、生活の場であるところに看護師が訪問して看護を提供しています。主治医を中心に関連事業者(ケアマネジャー、ヘルパー、福祉用具業者、介護施設、訪問リハビリ・マッサージ、薬剤師、管理栄養士など)と情報を共有して、在宅療養者それぞれに適した療養環境を整え、在宅生活が継続していけるように関わっています。

次に、日々の関わりの中で



療養者さまや介護者の方からの相談にどのように対応しているか、一部を紹介いたします。

1 痰をとるのにこれで良いのか？不安で…

〔訪問看護師〕吸引器の使い方・吸引のしかたについてのパンフレットを利用し、わかりやすく説明し、自信が付くまで毎日訪問して指導させていたできました。

〔介護者さん〕自分が痰を吸引器でとるところを訪問看護師に見てもらって、大丈夫と言われると安心しました。今では、上手になりました。

2 退院しても自宅で介護できるかどうか不安

〔訪問看護師〕事前に訪問日時

を相談して訪問させていただき、状態観察をして困ったことなどに耳を傾け対応しました。

〔介護者さん〕慣れるまでこまめに来てくれて助かった。退院して自宅で看られて良かった。

3 毎日、介護タクシーで点滴に通院するのは、行くことも待つことも大変で…

〔訪問看護師〕主治医に指示を頂き点滴を自宅でできるようにしました。

〔介護者さん〕自宅で点滴をしてくれて助かりました。

4 夜間、ちょっとおかしいかな？と思って連絡をしました

〔訪問看護師〕電話連絡を頂き、臨時訪問をして状態観察をしました。

「介護者さん」「夜に来てくれて、救急車を呼ぼうか迷って：助かりました」

5 自宅で最期を迎えたいが、何をしたらよいのか？

〔訪問看護師〕頻回に訪問して、異常の早期発見に努め、いつでも相談や訪問できる体制で対応しました。

〔介護者さん〕穏やかな最期が迎えられ良かったです。

在宅療養を支えるご家族さまは、「介護は大変」「病院にはいつまでもいられない」「施設は経済的に負担が大きい」と思っている方が殆どです。

また一人暮らしだったり、老介護、単身者の子供が介護するなどの状況が増えてきています。

訪問看護に求められる使命は多くありますが、その中でも大切なのは、安心して生活していただけるように365日、24時間いつでも必要な訪問

訪問時の様子



リハビリ



血圧測定

※撮影は本人の了承を得て行っています。

看護サービスが届けられることです。

在宅で療養中のご家族さまを抱えている方、お困りの事がありましたらいつでもお気軽にお電話ください。

電話0533(78)3233

介護保険を申請されていない方でも医療保険で訪問できます。

新コーナー

栄養のチカラ

旬のレシピ

ねばねばそば

管理栄養士が考える、栄養に配慮した体に良いレシピや栄養情報をお届けします。



作り方

- 1 そばをゆでる
- 2 オクラはさっとゆでて小口切り
- 3 海苔はちぎっておく
- 4 ゆでたそばを皿に盛り、オクラ、納豆、海苔をのせ、麺つゆをかけ、わさびを添える

POINT

そばとオクラを一緒に茹で、オクラを切らずに盛り付けると効率アップ

7月に旬を迎えるオクラ。麺類を食べるときはタンパク質、食物繊維が不足しがちですが、納豆、オクラを加えることでバランスが整います。暑い夏を乗り切りましょう。

第34回

職場紹介

西2病棟

西2病棟師長 尾形千羽子



西2病棟は西館3階にある52床の医療療養病棟です。

医療療養病棟の特徴

医療療養病棟は、慢性期の患者さまに対し、厚生労働省の定めた規定に従い、医療の必要度に応じた医療区分（医療区分表参照）及びADL自立度（日常生活自立度）の区分による包括評価をすることになっております。西2病棟は、主に医療区分2・3の医療必要度が高い患者さまをお受けすることになっております。現在、医療区分1の患者さまは、在宅または介護療

養病棟や老人保健施設などの介護施設へ転院をお願いいたしますが、退院が決まっている方なら状況に応じて転棟できます。当院では多職種で週2回の判定会を行い、適応の患者さまがどうか判断させていただいております。

看護師は看護の立場から患者さまがその人らしく療養できるように、患者さまの状態の現状維持・回復に努め、退院に向けた在宅支援、人生の最終段階を迎えられる患者さま・ご家族さまへのケアに取り組んでいます。

在宅支援の取り組み

在宅とは自宅や老健、特養などの施設も含まれます。その在宅への退院に向けた支援を、多職種で取り組んでいます。患者さまご家族さまの状況により、経管栄養、吸痰、オムツ交換、更衣、口腔ケア、食事介助などの

指導や、移乗の仕方などはリハビリ職員、食事指導は管理栄養士と連携して退院に向けた準備をしています。また、退院前には医療相談員とともに、退院後の生活を支えて下さるケアマネジャーや訪問看護師らと共にカンファレンスを行い、退院後の療養生活が困らないように努めています。

人生の最終段階を迎えられる患者さま・ご家族さまへのケアの取り組み

人生の最終段階を迎えられる患者さまも多く、私達はいつも優しい心で患者さまに寄り添い、ご家族の皆さまと共に、患者さまがその人らしく穏やかに最期を迎えられるよう、患者さま・ご家族の皆さまのご意向に沿った看護の提供に努めています。

医療区分表

医療区分3	疾患・状態 ・スモン・医師及び看護師により、常時監視・管理を実施している状態 医療処置 ・中心静脈栄養・24時間持続点滴・人工呼吸器使用・ドレーン法・胸腔腔洗浄 ・発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管・感染隔離室における管理 ・酸素療法（酸素を必要とする状態）を毎月確認
	疾患・状態 ・筋ジストロフィー・多発性硬化症・筋萎縮性側索硬化症・パーキンソン病関連疾患 ・その他の難病※（スモンを除く） ・脊髄損傷（頸髄損傷）・慢性閉塞性肺疾患（COPD） ・疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍・肺炎・尿路感染症 ・リハビリテーションが必要な疾患が発症してから30日以内・脱水かつ発熱を伴う状態 ・体内出血・頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態・褥瘡・末梢循環障害による下肢末端開放創 ・せん妄・うつ状態・暴行が毎日みられる状態（原因・治療方針を医師を含め検討） 医療処置 ・透析・発熱又は嘔吐を伴う場合の経腸栄養・喀痰吸引（1日8回以上） ・気管切開・気管内挿管のケア・頻回の血糖検査 ・創傷（皮膚潰瘍・手術創・創傷処置）
医療区分1	医療区分2・3に該当しない者

ADL区分

ADL区分1 11点未満
ADL区分2 11点以上～23点未満
ADL区分3 23点以上

当日を含む過去3日間の全勤務帯における患者に対する支援のレベルについて、下記の4項目に0～6の範囲で最も近いものを記入し合計する。
新入院（転棟）の場合は、入院（転棟）後の状態について評価する。
（0.自立、1.標準のみ、2.観察、3.部分的援助、4.広範な援助、5.最大の援助、6.全面依存）

項目	支援のレベル
ベッド上の可能性	
移乗	
食事	
トイレの使用	
合計点	

暴虐細菌「ヘリコバクター・ピロリ」

Helicobacter pylori, HP]

臨床検査室 技師長 木川修一

ある感染症の研究会で、

『ピロリ菌』について最前線の研究をされている先生の話を聞きました。その内容は、大変衝撃的なもので、ピロリ菌は、私たちの胃に「わるさ」をするために進化してきたのでしょうかと思えないものでした。

ピロリ菌の学名は、「ヘリコバクター・ピロリ」といいます。この菌は、右巻きに捻じれている細菌なので、「ヘリコバクター」、発見された場所が胃幽门部（出口）で、その英語から「ピロリ」という名前がつきました。

以前は、胃は胃液に含まれる塩酸のために強い酸性となっていたため、細菌はいないとされてきました。しかし、ピロリ菌は、本来中性付近しか生きられないのに、実際は胃粘膜に棲んでいます。この

秘密は、ピロリ菌は、胃の中の尿素をウレアーゼという酵素によって分解し、自分のまわりにアンモニアのバリアを作り、胃酸を中和することで生きていけるのです。

研究が進むにつれ、ピロリ菌は胃粘膜に感染すると、様々な「わるさ」をすることが分かってきました。ピロリ菌の感染が、胃・十二指腸潰瘍の原因として指摘され、さらには、胃癌などの胃悪性腫瘍、消化器以外の疾患（特発性血小板減少症など）との関連も次第に明らかになってきました。

私たちの体は、細菌が侵入すると、白血球により菌を排除しようとします。このために炎症が起こります。白血球が戦う時に、活性酸素が出ます。これが細胞を傷つけ、加えてピロリ菌の出すアンモニアと反応した物質ができ、更に胃粘膜を傷つけます。

また、ピロリ菌が作り出す菌体外毒素「VacA（細胞空洞化毒素A）」も、胃粘膜を傷つけると考えられています。

更に、ピロリ菌の持つ遺伝子のひとつ、「CagA遺伝子（細胞毒関連遺伝子A）」が作る「CagA蛋白」は、ピロリ菌の持つ注射針状の装置により、胃粘膜細胞に直接注入され、更に炎症を増強させます。CagA蛋白は、ピロリ菌感染者のほぼ九割で見つかっています。

CagA蛋白は、胃癌との関連性も強く指摘されています。CagA蛋白は、東アジア型と欧米型の二つに分けられ、東アジア型の分布と胃癌多発地域が一致していることから、東アジア型の方が発癌活性が

強いと推測されています。

ピロリ菌は、全世界人口の約半数が感染していると推定されています。日本人の感染率は、30代以下で約25%であるのに対し、50代以上では70%以上で発展途上国並みの感染率の高さとなっています。年代で大きな差があります。衛生環境の向上により次第に患者数は減少してきています。

ピロリ菌は子供の頃に感染すると考えられており、理由の一つとして、母親から食事を口移しで与えられたことが挙げられます。一度感染すると除菌をしない限り、一生胃の中に棲み続けます。気になる方は、検査を受けることをおすすめします。



平成30年1月15日～1月20日に外来・病棟にて患者さま満足度調査を実施いたしました。
調査結果をもとに、今後もより良い病院づくりに取り組んでまいります。
アンケートにご協力頂きました皆さま、誠にありがとうございました。



調査日	1月15日(月)	1月16日(火)	1月17日(水)	1月18日(木)	1月19日(金)	1月20日(土)	合 計
回収枚数	63枚	80枚	60枚	75枚	56枚	44枚	378枚

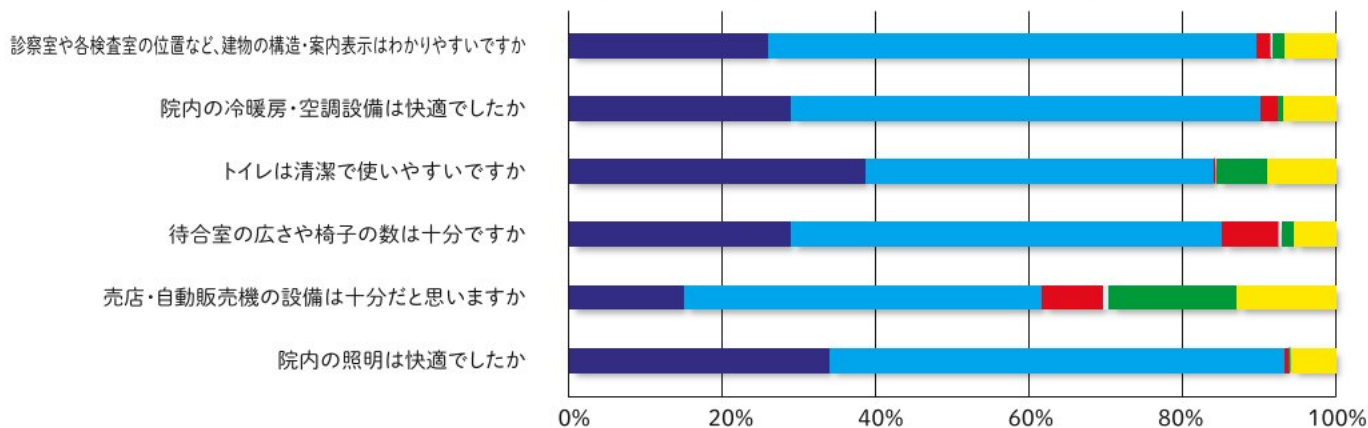
① 職員の接遇・身だしなみ (該当のある場合のみ)

(単位:人)

	医師	看護師	事務	放射線技師	検査技師	薬剤師	リハビリ	栄養士
挨拶をされずに、不快な気分になった	1	0	3	0	1	0	0	1
言葉遣いで、不快な気分になった	4	2	2	1	0	0	0	0
説明がわかりにくいことがあった	5	2	3	0	0	0	0	0
不機嫌そうな表情や面倒くさそうな顔をされた	4	1	2	1	1	0	0	0
身だしなみが気になった	4	3	0	0	0	0	0	0
質問や要望にまったく対応しなかった	4	1	0	0	0	0	1	0

② 院内の設備・環境満足度

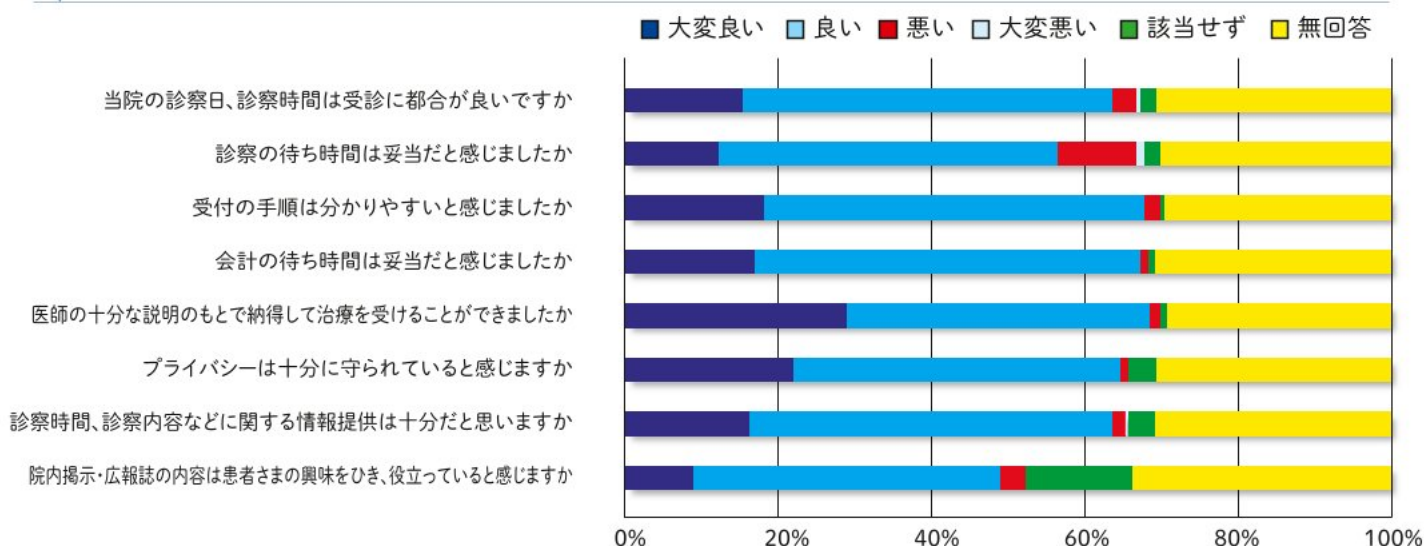
■ 大変良い ■ 良い ■ 悪い ■ 大変悪い ■ 該当せず ■ 無回答



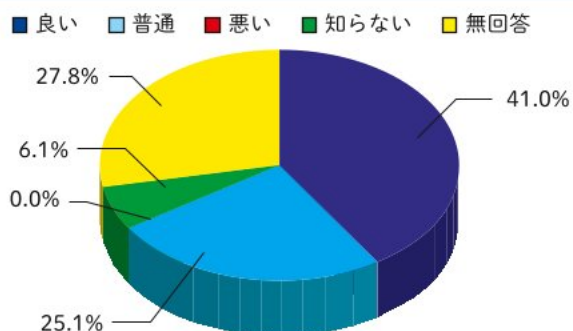
調査結果%(前回調査との比較)

	大変良い	良い	悪い	大変悪い	該当せず	無回答
診察室や各検査室の位置など、建物の構造・案内表示はわかりやすいですか	25.9 (+2.4)	63.8 (-1.4)	1.9 (+0.9)	0.3 (+0.1)	1.6 (+0.6)	6.6 (-2.6)
院内の冷暖房・空調設備は快適でしたか	28.8 (+3.2)	61.4 (-3.0)	2.1 (+1.0)	0.0 (-0.3)	0.8 (+0.5)	6.9 (-1.4)
トイレは清潔で使いやすいですか	38.6 (+5.4)	45.5 (-4.3)	0.3 (+0.1)	0.0 (-0.2)	6.6 (+0.4)	9.0 (-1.5)
待合室の広さや椅子の数は十分ですか	28.8 (+3.2)	56.3 (-5.1)	7.4 (+3.3)	0.3 (±0)	1.6 (+0.3)	5.6 (-1.7)
売店・自動販売機の設備は十分だと思いますか	14.8 (+1.4)	46.8 (-1.7)	7.9 (+1.1)	0.8 (±0)	16.7 (+0.5)	13.0 (-1.3)
院内の照明は快適でしたか	33.9	59.5	0.5	0.0	0.3	5.8

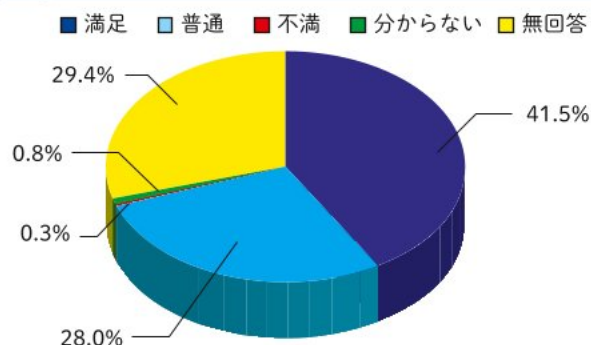
③ 待ち時間・情報提供の満足度



④ 当院の地域における評価



⑤ 全体的な満足度（3段階評価）



⑥ 病院全体で不満を感じたことや、こうしたら良いと感じたことがあればご記入下さい。

体制・接遇について

- 名前と呼ばれるのは嫌だ。
- 予約なのに1時間待つのは何とか改めて欲しい。
- 担当医ではない医師が診察させてほしいと何度も電話があった。

設備・環境について

- 会計時の場所、玄関ドアが開くたびに寒い風が入り寒い。
- 待合の長いすで座っている時に、隣の人が立ったり座ったりする際に、いすが揺れて不快感がある。
- トイレの男女がわかりにくいと思いました。男性がわからず入ってみました。
- 小さくてもカフェ・レストランがあると便利。

⑦ 病院全体でよかったこと

- 全体に落ち着いた雰囲気であり、安心して治療に専念できる。職員もきびきびしており接しやすい。地域の中核病院として貢献度大である。
- トイレ・待合室・診察室が清潔な状態で保たれているのが良い。
- みなさん親切で、私も子供たちもお世話になっています。
- 検査内容、待ち時間を具体的に伝えてくださり、わかりやすかった。
- 先生も感じよく、わかりやすく説明して頂きました。
- 予約制なので待ち時間が少なくて非常によい。
- 職員の礼儀正しさ。

病棟別のアンケート回答数

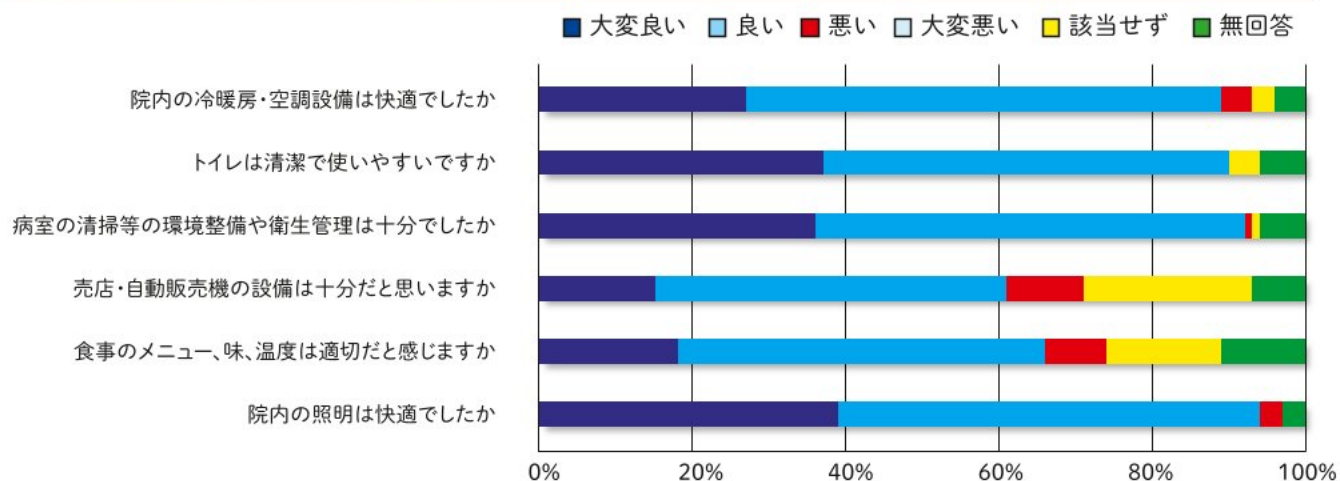
	1病棟	2病棟	3病棟	西1病棟	西2病棟	合 計
回収枚数	33枚	13枚	26枚	32枚	20枚	124枚

① 職員の接遇・身だしなみ（該当のある場合のみ）

（単位：人）

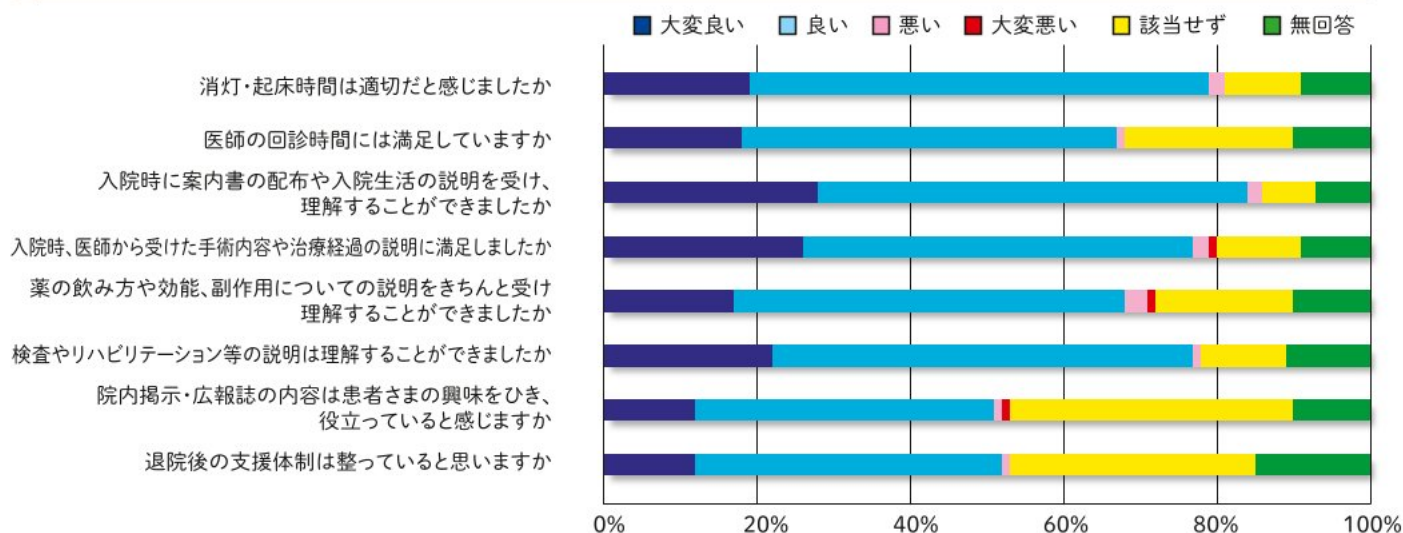
	医師	看護師	事務	放射線技師	検査技師	薬剤師	リハビリ	栄養士
挨拶をされずに、不快な気分になった	1	2	1	0	0	0	0	0
言葉遣いで、不快な気分になった	2	2	0	0	1	0	0	0
説明がわかりにくいことがあった	2	2	1	0	0	0	0	0
不機嫌そうな表情や面倒くさそうな顔をされた	1	6	2	0	1	0	0	0
身だしなみが気になった	1	1	0	0	0	1	0	0
質問や要望にまったく対応しなかった	2	1	0	0	0	0	0	0

② 院内の設備・環境満足度

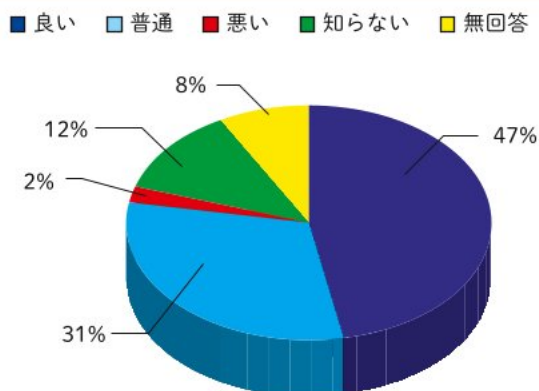


	大変良い	良い	悪い	大変悪い	該当せず	無回答
院内の冷暖房・空調設備は快適でしたか	27	62	4	0	3	4
トイレは清潔で使いやすいですか	37	53	0	0	4	6
病室の清掃等の環境整備や衛生管理は十分でしたか	36	56	1	0	1	6
売店・自動販売機の設備は十分だと思いますか	15	46	10	0	22	7
食事のメニュー、味、温度は適切だと感じますか	18	48	8	0	15	11
院内の照明は快適でしたか	39	55	3	0	0	3

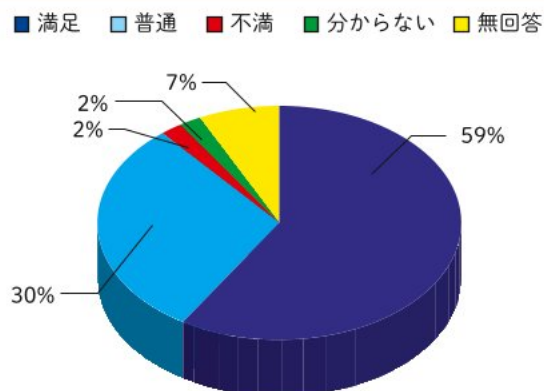
③ 待ち時間・情報提供の満足度



④ 当院の地域における評価



⑤ 全体的な満足度（3段階評価）



⑥ 病院全体で不満を感じたことや、こうしたら良いと感じたことがあればご記入下さい。

体制・接遇について

- 入院時のタブレット未使用、TV を見ないのに使用料として毎日 500 円支払いがあるのはおかしいと思います。
- 看護師の言葉づかいが悪い。

設備・環境について

- 救急外来の出入り口から駐車場に行く道中暗くて、転びそうになって怖いです。
- 売店の品数が非常に少なく、おにぎりやパンなども衛生上ストッカーに入っておらず、夏場は心配になります。入院時、必要となる備品を最低限でも揃えて欲しい。
- 病室の間仕切りカーテンの開閉音が少々きつかったです。眠りかけている際など、その音に驚いて体がびくつき、患部に激痛が走りました。
- 暖房が効きすぎて暑い。

⑦ 病院全体でよかったこと

- 病院内が広くて明るいので、足が悪い自分は安心して歩けます。バスの利用が出来るので、車の運転が出来ないので助かっています。
- 少しでも（一日一日）症状が改善されるよう皆さんが一生懸命関わっていただけていることに感謝しています。
- お医者様も看護師さんも優しく接して下さるので感謝です。トイレもきちんと掃除されてて、清潔感があります。
- 食事が、温かい物はきちんと温かく、冷たい物は冷たく、美味でした。嫌いな牛乳も飲めました。
- 患者に対して声掛けが十分に行われているようで、とても感じが良かった。



院長から みなさまへ

院長 小森 義之

シリーズ
第25回

開院50周年を迎えて

昨年は昭和42年牧野政子理事長が青山病院を開院してから50周年となります。またその後の青山病院開設から約40年、総合青山病院と名称を変更して約20年、現在の病院へ移転して約10年の大きな節目の年となります。このことはこれまで病院、法人に関わったすべての職員の努力の賜物であるとともに、本院を頼って来院していただいたすべての患者さまのおかげと感謝いたします。

えられなかった医療機器を取り入れ、今まで見られなかったものが見られるようになり、今まで出来なかったことが出来るようにはなりました。しかし、まだすべてがAI化しておらず、現時点では人が使ったり、判断したりする必要があります。したがって、どんなに医療機器が進歩しても、それを使う人間に適切な判断が求められます。最近話題になった、他院でおこなった画像診断の遅れなどはその例で、画像では病変が明らかでも、その病変を見落としたり、専門の診断医のレポートを確認しなかったりしています。このことは我々も十分注意すべき事例と考えています。



牧野 政子 理事長 (50周年記念式典にて)

最後に総合青山病院は病院職員がそれぞれに、最新の医療事情、知識、技術に敏感に対応して個人の能力を最大限発揮して、病院の理念である患者さま側に立った全人的医療を目指していきたいと考えています。そして、まずは60周年、その先の100周年と病院が発展していき今以上に地域の皆さまに貢献できる病院になつていきたいと思えます。

平成29年に当法人の起点となる青山病院開院から50周年を迎え、6月29日(金)に、青山病院開院50周年記念式典及び祝賀会を開催することができました。これもひとえに、地域の皆さまのご支援ご厚情の賜物と深く感謝致します。

今後とも皆さまに愛される病院を目指して日々邁進してまいります。



50周年記念誌





整形外科

部長

あおき けんたろう

青木 健太郎

日本整形外科学会専門医

メッセージ

膝・スポーツ外科が専門です。
膝周囲の疾患に対し、幅広く対応しています。わからないことや不安なことがあれば、お気軽にご相談下さい。

平成18年 浜松医科大学卒業
平成18年 静岡赤十字病院 研修医
平成20年 浜松医科大学附属病院 整形外科 医員
平成20年 富士宮市立病院 整形外科 医員
平成22年 藤枝市立総合病院 整形外科 医員
平成25年 静岡市立静岡病院 整形外科 医長
平成30年 総合青山病院 整形外科 部長



在宅医療・

療養医療支援センター

副センター長

まじま ともき

馬嶋 知樹

メッセージ

西2病棟の診察を担当させていただきます。
よろしくお願いします。

平成7年 愛知医科大学医学部卒業
平成7年 愛知医科大学医学部附属病院
平成8年 中津川市民病院
平成14年 岡波総合病院
平成15年 四日市社会保険病院
平成26年 富田浜病院・白雪クリニック
平成29年 榊原整形外科内科外来
平成30年 総合青山病院 在宅医療・療養医療支援センター 副センター長

情報STATION

Aoyama Hospital Information Station

第43回 院内コンサート

バイオリン&ピアノコンサート

日時 平成30年 8月25日(土) 14:00~
場所 総合青山病院1階 外来ロビー 参加 自由(無料)



第44回 院内コンサート

小坂井女声コーラス合唱コンサート

日時 平成30年 9月15日(土) 14:00~
場所 総合青山病院1階 外来ロビー 参加 自由(無料)



第45回 院内コンサート

和太鼓コンサート

日時 平成30年 10月20日(土) 14:00~
場所 総合青山病院1階 外来ロビー 参加 自由(無料)



第34回 公開講座

講師

総合青山病院 サイバーナイフセンター長

みずまつ しんいちろう

水松 真一郎

テーマ

癌になったとき、がんばる治療と無理しない治療

日時 平成30年 8月18日(土) 13:30~
場所 総合青山病院5階 講義室



第10回 健康教室

テーマ「大腸内視鏡検査について」

日時 平成30年 8月31日(金) 16:00~
場所 総合青山病院 健診センター4階 多目的ホール

申込み TEL:0533-73-3784
(事前に健診センターへお申込み下さい。)



講師

総合青山病院 消化器内科

とよだ すみお

豊田 澄男 副院長

A S O B I
N O
H I R O B A

遊びの広場

数独の
解き方

1. タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1~9までの数字が1コずつ入ります。
2. 太線で区切られた3×3の枠内(マスは9コ)にも1~9までの数字が1コずつ入ります。
3. 従って、タテ、ヨコ、枠内で、同じ数字が重複して入ることはありません。
とにかく、算数無用、注意力の勝負、なるべくラクをして、かつスマートに解いていきましょう。

答えは12ページ目をご覧ください。

		6		8			5
	8			5		9	
5			3			1	
		1			5		2
3			9			5	
		7			3		4
		2		7			3
	6			4		2	

ふれあい箱の回答

たくさんのご意見ありがとうございます。



お褒めの言葉

2ヶ月以上にわたる入院生活になりましたが、私に関わる人たちに支えられ感謝の言葉しか出てきません。患者側に立った医療をしている病院だと実感できました。先生、看護師さん、看護助手さん、リハビリの先生ありがとうございました。楽しく入院生活を過ごせました。

2病棟 入院患者さま

温かいお言葉をありがとうございます。今後も患者さま側に立った医療を目指し、職員一同邁進してまいります。

ご意見

レントゲン撮影時に体の向きを変える手伝いが欲しかった。手伝いがなかったため腰をひねってしまい、しばらく痛かった。

外来 患者さま

このたびは配慮が行き届かず、申し訳ありませんでした。

撮影時の体位変換時はお手伝いすることとしていますが、椎体骨折等の腰痛の患者さまは、他人が体位変換すると痛がるが多く、自分のペースで体位変換して頂き見守ることがありました。

今回のケースは声かけ確認や状況判断ができておらず、このようなご指摘を頂くことは大きな問題と認識しております。患者さまが安心して検査を受けることができるように再度指導してまいります。

病院の
美化運動

去る4月25日の水曜日、職員による病院敷地周りの清掃作業が実施されました。天候もよく、清掃日和となり、お昼休みの時間を利用し、部署ごとに担当区域を決め、ゴミ拾いや除草作業を行いました。



今後も継続的に実施し、患者さまに気持ちよく過ごしていただけるよう、努めていきたいと思っております。

遊びの広場の解答

2	3	6	1	8	9	4	5	7
1	8	4	7	5	2	9	6	3
5	7	9	3	6	4	1	2	8
6	9	1	4	3	5	7	8	2
7	4	5	6	2	8	3	9	1
3	2	8	9	1	7	5	4	6
8	5	7	2	9	3	6	1	4
4	1	2	5	7	6	8	3	9
9	6	3	8	4	1	2	7	5

編集後記

梅雨も明け、いよいよ夏本番がやってきました。皆さまお変わりありませんか。

毎年、暑さに悲鳴をあげて、アイスを食べてぐうたらしている間に、いつのまにか次の季節が巡ってきます。もう少し、季節を楽しめる余裕がもてるいいのですが・・・。

今年こそは、引き締まったボディを手に入れるためにトレーニングをして、海や山のレジャーを楽しんでいけたらいいと思います。まだまだ暑い日が続きますが、こまめな水分補給、エアコンの活用など取り入れて、ご自分の身体と相談しながら、皆さま、素敵な夏をお過ごしください。

今回よりリニューアルした「ふれあい」はいかがでしたか？これからも皆さまに役立つ情報提供を目指していきますので、ご意見・ご感想を是非お聞かせください。

病院の理念

患者さま側に立った全人的医療を目指します

基本方針

地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます
患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します
患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します
患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します
患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

患者さまの権利

1. 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
2. ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
3. ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
4. ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
5. 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
6. ご自分の診療録の開示を求める権利を有します